

平成23年度 文教大学国文学会

冬の研究発表会

12月10日(土) 12:30-15:45 3301R

◆第一部 研究発表会◆ 12:30-14:20

*坂本 真里

文教大学大学院言語文化研究科 地域言語文化研究コース在籍

『『彼岸過迄』論 -像の〈ゆらぎ〉を生成する語り-』

*陳 新

文教大学大学院言語文化研究科 第二言語習得研究コース在籍

「中国語を母語とする日本語上級学習者の文末スタイルについてに関する研究
-相手言語接触場面と第三言語接触場面との比較-

◆第二部 古典芸能鑑賞会◆ 14:30-15:45



『文藝寄席～古典落語を楽しむ』

しゅんぶうてい りゆうちよう

春風亭柳朝 師匠 解説 稲垣 泰一先生 **入場無料!**

古典落語とは、落語の演目のうち、一般に江戸時代から明治時代に作られたものを指します。それよりも新しい時代に作られた演目は、新作落語と呼んで区別されています。

「あれ?演目が載っていない」とお思いになられた方も多いでしょう。演目は当日のお客様のお顔を拝見してから決まるとのことですので、ご期待ください。みなさんも、日本文化の粋を極めた「古典落語」を味わってみませんか??

古典落語に関する詳しい説明は<http://www.rakugo-kyokai.or.jp/>をご覧ください!!

★古典落語の詳しい説明をご紹介いただきながら、ごく間近で古典落語を楽しむことができます。この機会にお越しください。入場は無料です!どなたでもお気軽にご来場ください!

文教大学国文学会事務局 問い合わせ先 国語・日文研究室 TEL 048-974-8811 (内線 2510・2200)

※発表内容、古典落語の魅力を集めた「国文学会だより」(11/29(火)発行)をご希望の方は上記研究室まで...

